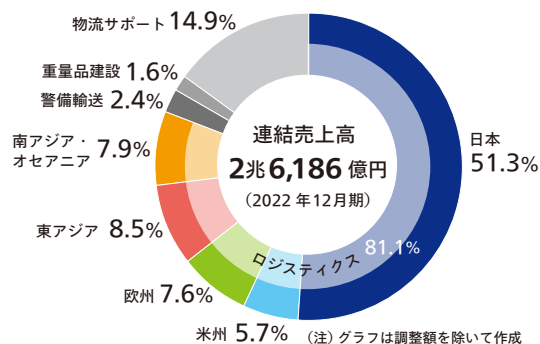


At a Glance

セグメント別売上収益構成比



NXグループは、サプライチェーンを効率化・高度化し、モノの経済的価値を高めるため、日本・世界各地において、多様な輸送モードを駆使したさまざまなサービスを提供しています。

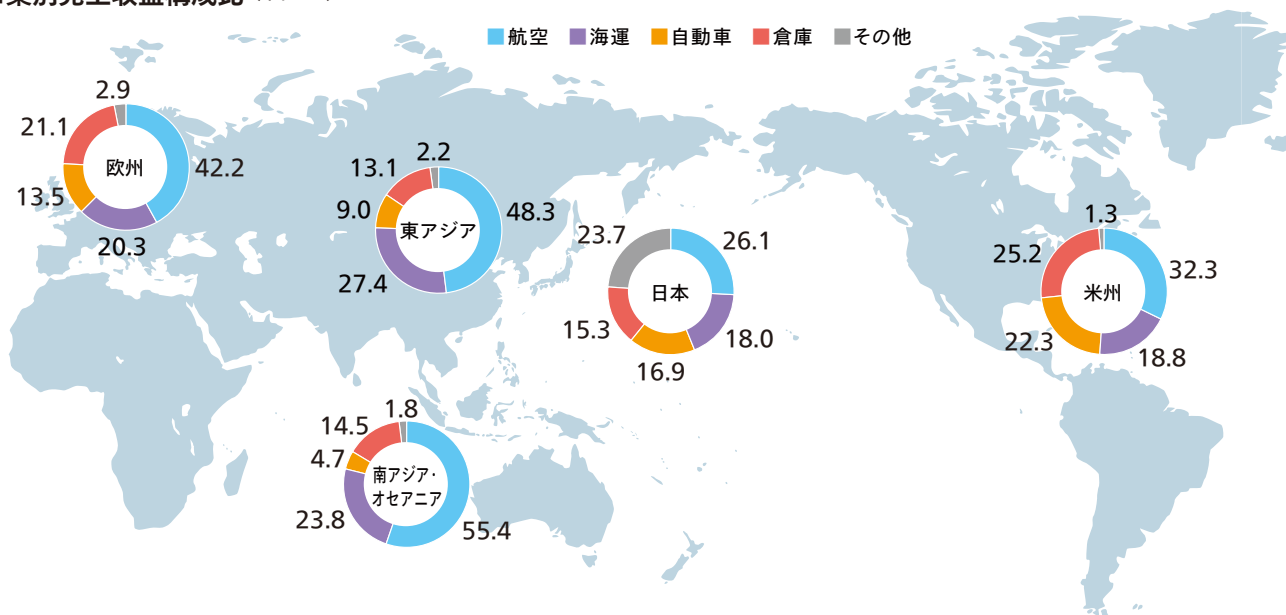
主要事業・製品およびサービス

セグメント	主要事業										主要製品およびサービス
	鉄道利用運送業	貨物自動車運送業	利用航空運送業	海上運送業	港湾運送業	倉庫業	工場内運搬作業	情報資産管理業	不動産業	重量物運搬架設置業	
ロジスティクス											鉄道取扱、自動車運送、積合せ貨物、航空運送、海運、引越・移転、倉庫・流通加工、工場内作業、情報資産管理、不動産賃貸、美術品、重量品建設
日本	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
米州		●	●		●	●					航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
欧州	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
東アジア	●	●	●		●	●					鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送
南アジア・オセアニア	●	●	●		●	●				●	鉄道取扱、航空運送、海運、倉庫・流通加工、引越・移転、自動車運送、重量品建設
警備輸送	警備業、貨物自動車運送業										警備輸送
重量品建設	重量物運搬架設置業										重量品建設
物流サポート	物流機器・包装資材・梱包資材・車両・石油・LPガス等の販売業、車両整備、保険代理店業、不動産の仲介・設計・監理・管理業、調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業										石油等販売、その他販売、不動産、ファイナンス、その他

セグメント別売上収益／セグメント利益 (単位:億円)

		売上収益	セグメント利益 (事業利益)
ロジスティクス	日本	14,509	714
	米州	1,620	137
	欧州	2,157	125
	東アジア	2,415	128
	南アジア・オセアニア	2,218	200
警備輸送		680	31
重量品建設		445	63
物流サポート		4,216	164

事業別売上収益構成比 (単位:%)



セグメント情報

日本

2022年度の主な取り組み

日本通運株式会社、東日本医薬品センターでWHO基準のGDP認証を取得

日本通運株式会社は、7月29日を発効日として、東日本医薬品センター(埼玉県久喜市)において、医薬品の適正な流通基準であるGDP(Good Distribution Practice)の認証を取得しました。

東日本医薬品センターにおいて、2温度帯管理(室温:15～25℃、保冷:2～8℃)による医薬品の保管および輸送を対象としたWHO基準のGDP認証を取得しました。NXグループは、24の国と地域の世界32拠点で、医薬品物流のGDP認証を取得(うち2拠点はCEIV Pharma認証も取得)しており、これらを核とした安全かつ高品質な医薬品物流サービスをEnd to Endでグローバルに提供してまいります。

日本通運株式会社、高機能倉庫「NX 四日市垂坂物流センター」にてサービス開始

日本通運株式会社は、三重県四日市市の「NX 四日市垂坂(たるさか)物流センター」にて9月28日(水)よりサービスを開始しました。

四日市市を含む三重県北勢地域は、半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾(四日市港・名古屋港)と高速道路網が相まって、生産活動が活発なエリアです。

NX 四日市垂坂物流センターは、大手半導体メーカーの工場に隣接し、東名阪自動車道への交通アクセスが良い他、災害時の液状化・氾濫のリスクが低く、BCP拠点としても優れた立地にあります。また、半導体生産部材など高品質な保管環境が求められる商品に対し、フロア・区画ごとに空調とセキュリティ機器が標準装備となっている他、非常用電源も設備されており、24時間365日の稼働体制を整えています。



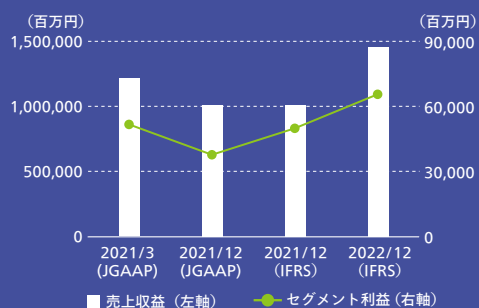
事業概要

鉄道、自動車、海運や航空などのさまざまな輸送モード、全国に広がるネットワークを駆使し、安全・品質・コンプライアンスへの高い意識とお客様第一の姿勢を持った社員がお客様に最適な物流サービスを提供しています。さらに、国内トップの倉庫面積を誇る物流センターや実績とノウハウを結集した物流情報システムを駆使し、企業間の物流から引越・移転、美術品や医薬品といった特殊な物品の輸送まで、多様なニーズに最適なソリューションを提供しています。

戦略と施策

重点産業(電機・電子、自動車、アパレル、医薬品、半導体)への営業拡大と同時に、業務の効率化により生産性向上を図るなど、持続的な成長を目指し取り組んでいます。顧客起点のアプローチを強化し、アカウントマネジメントによる顧客貢献領域拡大や、顧客サプライチェーンの変化を機会とした新規業務の獲得に取り組んでいます。また、ニーズが集中する東名阪大都市圏へ経営資源を集中して営業を拡大するとともに、地域の主要顧客のニーズに応じたサービス提供にも注力しています。

売上収益/セグメント利益の推移



従業員数

41,541名

設備投資額

428億円

2022年12月期業績概況

燃油単価の高騰などがあるものの、航空貨物、海運貨物は販売単価の上昇が継続し、売上収益は1兆4,509億円、セグメント利益は714億円となりました。

セグメント情報

米州

2022年度の主な取り組み

テキサス州サンアントニオ市に新倉庫開設

NXアメリカ株式会社は、テキサス州サンアントニオ市において、「サンアントニオクロスドックセンター」を開設しました(営業開始日 2022年4月)。主に自動車関連部品の保管・検品・仕分などの業務を行っています。お客様の生産ライン計画に合わせてジャストインタイムでの納入を実現できる機能を有しており、西海岸における港湾混雑、半導体不足などのサプライチェーンの混乱の影響緩和に貢献しています。



テキサス州サンアントニオ市の新倉庫

アラバマ州ハンツビル市に新倉庫開設

NXアメリカ株式会社は、アラバマ州ハンツビル市において、「ハンツビルロジスティクスセンター2」を開設しました(営業開始 2022年7月)。新倉庫は、2021年2月に稼働の「ハンツビルロジスティクスセンター」から南に約5kmの距離に位置しており、主に日本やメキシコから輸入した自動車部品を保管、仕分けし30社以上に配送しています。

新倉庫の設立により米国でのさらなる物流サービスの拡充を図り、経営計画において重点産業と位置づける自動車産業の取り組みを強化していきます。



アラバマ州ハンツビル市の新倉庫



事業概要

米国、カナダ、メキシコ、ブラジルに自社拠点を展開するとともに、現地法人を置かない国においても代理店を設置することにより米州全体でサービスを提供しNXグループのグローバルネットワークを支えています。

海上輸送、航空輸送に加えニーズの高いUSMCA締結国(米国、カナダ、メキシコ)間のトラック輸送についてもクロスボーダー輸送体制と倉庫機能を構築し、お客様のサプライチェーンを強力にサポートするロジスティクスソリューションを提供しています。

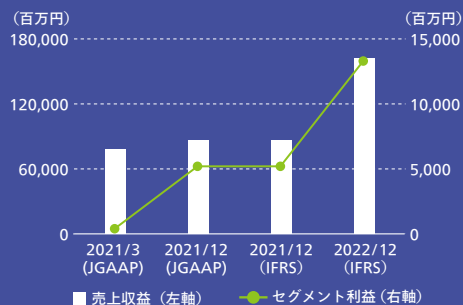
戦略と施策

半導体や自動車産業などの米州生産回帰(ニアショアリング)が一層拡大すると考えられることから、米国・メキシコ間のクロスボーダー事業のさらなる拡充・拡大に取り組みます。

重点産業である自動車産業、半導体産業、医薬品産業などに対し、自社物流拠点展開や機能強化を進めることで、さらなるサービスの向上を図っていきます。

また、上記重点産業への営業拡大と顧客基盤を強化するため、専門的な人財の拡充などの施策に取り組んでいます。

売上収益/セグメント利益の推移



従業員数

3,018名

設備投資額

122億円

2022年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物は自動車関連や医療関連を中心に取り扱いが堅調に推移し、売上収益は1,620億円、セグメント利益は137億円となりました。

セグメント情報

欧州

2022年度の主な取り組み

NXベルギー株式会社、ゲンク・ロジスティクスセンター
営業開始

NXベルギー株式会社は、ベルギー東部のゲンク・グリーンロジスティクスパーク内に国内4番目の拠点となるゲンク・ロジスティクスセンターを開設し、4月25日より営業を開始しました。

欧州ではコロナウイルス感染症拡大によるeコマース市場の伸長に伴い、アパレル産業のお客様を中心にDC拠点の再配置、集約、増設の動きが高まっています。

同センターはアントワープ港からのバージ(はしけ船)輸送のターミナルポートに隣接しており、欧州域内への鉄道ターミナルやリエージュ国際空港へ接続できる場所に位置し、大量消費地であるドイツ、オランダ、フランスに囲まれた欧州物流ネットワークの中心として地理的優位性を確保しています。また、カーボンニュートラルの実現に向けて、各種省エネルギー設備(太陽光発電、水循環、風力発電など)を導入しており、今後BREEAM(環境性能評価手法)認証を取得予定です。

NXグループは、経営計画において重点産業と位置づけるアパレル産業の取り組みを強化するとともに、今後も欧州における物流機能をさらに拡充し、お客様の事業活動の発展に貢献していきます。



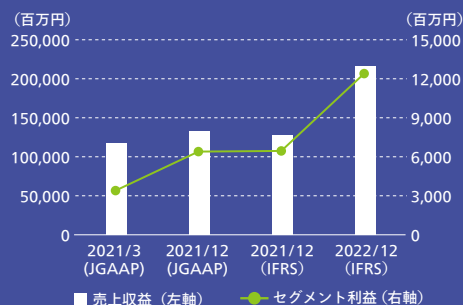
事業概要

ドイツやイタリア、オランダなど欧州主要各国、トルコ、アラブ首長国連邦に拠点を展開しています。2022年7月に既に支店形態で進出していたモロッコにおいて、NXモロッコ有限会社を設立しました。同国およびアフリカ地域におけるロジスティクス機能をさらに拡充し、アフリカ、中東欧など新興地域へ積極的に進出していきます。

戦略と施策

中東欧・中東・アフリカまでおよぶ広範な自社ネットワークを生かし、重点産業である半導体・モビリティ・医薬品産業への営業拡大を進めるとともに、非日系企業基盤の拡大に向けた営業体制の確立を進めています。アパレル産業の取り組みではライフスタイル産業へも営業を拡大し、存在感を強めています。中欧鉄道による鉄道貨物の拡大や欧州経由のアフリカ向けクロスボーダー輸送の開発などに加え、ハブポートの既設拠点での倉庫配送業務といった事業領域の拡大にも取り組んでいます。

売上収益／セグメント利益の推移



従業員数

3,658名

設備投資額

86億円

2022年12月期業績概況

ロシアによるウクライナ侵攻の影響はあるものの、航空貨物、海運貨物は販売単価の上昇が継続し、売上収益は2,157億円、セグメント利益は125億円となりました。

セグメント情報

東アジア

2022年度の主な取り組み

NXグループの東アジア地域における知名度を高め、中国国内物流事業の拡大の取り組み

東アジアリージョンは、上海で2018年から毎年開催される国家級イベントである「中国国際輸入博覧会(CIIE)」に5年連続で出展しました。また、同様に各種免税政策により注目を集める海南省で開催される国家級イベントである「中国国際消費財博覧会」にNXグループとして初めて出展し、NXグループブランドを紹介し、東アジアの中で最も巨大な消費市場を持つ中国における当社のサービスを紹介し、NXブランドの浸透を図りました。



産業に特化した営業組織の設立

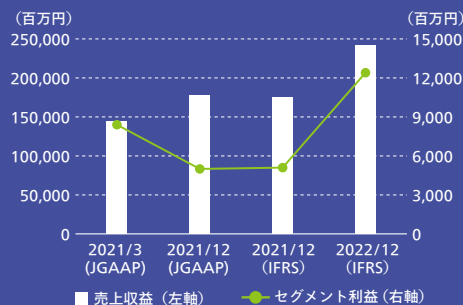
医薬産業ではNX国際物流(中国)有限公司内にヘルスケア支店を設立し、中国資本の医薬品メーカーの輸出ビジネスの取り扱いを大きく拡大しました。また、半導体産業ではNX台湾国際物流(股)有限公司内に半導体専門の営業組織を設立し、海外への工場進出における設備輸送業務に加え、海外赴任者の海外引越業務の取り扱いなどNXグループの総合力によるビジネスの拡大を実現しました。



事業概要

中国・香港・台湾・韓国の東アジア地域に拠点を展開しています。内需の規模が大きい中国では主要都市を結ぶ幹線輸送および都市内の自動車配送網と、各地に展開する倉庫拠点を活用し、家電・自動車部品の調達物流、雑貨・衣料品の販売物流など国内物流を展開しています。また、医薬品物流に対する需要の高まりに合わせ、GDP認証の取得や温度管理輸送サービスの拡充に専門支店を設けて取り組みを進めています。経済連携の強化により域外との貿易が活発化する傾向にある中、中国～欧州の鉄道輸送に加え、東南アジア地域とのクロスボーダー輸送サービスの拡大を進めています。

売上収益／セグメント利益の推移



従業員数
4,734名

設備投資額
62億円

戦略と施策

重点産業である半導体・モビリティ・医薬品産業への営業拡大を進めるとともに、積極的な海外展開を進める中国・台湾資本の非日系企業の基盤の拡大に向けた営業体制の確立を進めています。モビリティ産業では、EV化に伴うプレーヤーの変化やサプライチェーンの変化への対応を強化していきます。医薬品産業では、GDP認証拠点の拡充など物流拠点の施設設備や品質管理体制の構築による品質向上を図っています。上記重点産業への営業拡大と顧客基盤、市場調査を強化するため、専門的な人材の拡充などの施策に取り組んでいます。

2022年12月期業績概況

上海地区のロックダウンの影響はあったものの、中国国内の他地域や他国での取り扱いが堅調に推移し、売上収益は2,415億円、セグメント利益は128億円となりました。

セグメント情報 南アジア・オセアニア

2022年度の主な取り組み

NXシンガポール株式会社 自動倉庫導入

同社では2022年2月にAutoStore(ロボットストレージシステム)を導入しました。倉庫スペース不足・マンパワー不足といったお客様の要望に対応するため導入され、Autostoreと併せてVNAラック(通常より間隔が狭い通路のラック)やPallet Shuttle Rack(台車式流動棚)などを活用しました。

その結果、保管能力やピッキング効率、ステージング収容力が増加し、コストの削減のみならず作業の効率化も図ることに成功しました。

NXマレーシア株式会社、クアラルンプール国際空港内に新倉庫を開設

同社では2022年4月にクアラルンプール国際空港のFree Commercial Zone(FCZ)に新倉庫を開設し、作業、貨物保管スペースを拡張しました。近年増加している貨物需要に対応する為で、既存倉庫と合わせ約9,700㎡の倉庫でより効率的かつ安全な作業オペレーションが可能となりました。



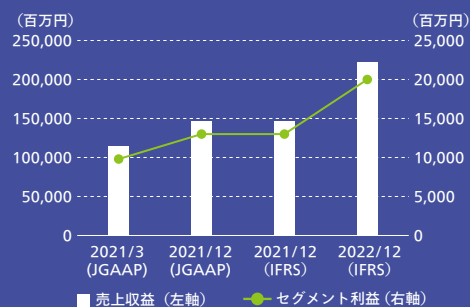
事業概要

シンガポールやタイなどのASEAN各国およびインド・バングラデシュ・オーストラリアなど15か国に拠点を展開しています。経済連携の強化により域内貿易がますます活発化する中、さまざまな輸送ルート・輸送モードで結ぶクロスボーダー輸送ネットワークを展開しています。地域最大の経済圏インドでは、自動車関連部品の効率的集約と配送を行うミルクランサービスやJIT物流を提供、サプライチェーンの最適化に取り組んでいます。また、医薬品物流に対するGDP認証の取得や温度管理輸送サービスを拡充しています。

戦略と施策

域内各国の経済連携により拡大する国際物流需要と、購買力向上による消費財需要の高まりに対して、重点産業である自動車、電機・電子、半導体、医薬品、アパレルに消費財、化学を加えた各産業への営業強化および多機能倉庫を活用した新規・高品質サービスの開発による域内営業基盤の確立に取り組んでいます。また、インドを中心に中東・東アフリカを結ぶ環インド洋貿易圏、バングラデシュとパキスタンを含むインド亜大陸のネットワークの拡充を進めていきます。

売上収益／セグメント利益の推移



従業員数

8,276名

設備投資額

86億円

2022年12月期業績概況

航空貨物、海運貨物は自動車関連、電機・電子関連の取り扱いが堅調に推移した他、運賃高騰による販売単価の上昇などにより、売上収益は2,218億円、セグメント利益は200億円となりました。

セグメント情報

警備輸送セグメント

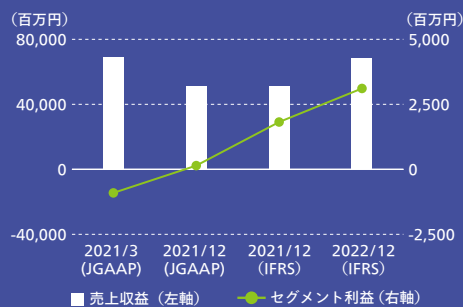
事業概要

1965年の事業開始以来、貴重品運搬警備のパイオニアとして、現在に至るまで国内 No.1 のシェアを占めている警備輸送事業部ですが、2023年1月1日より、NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社へその事業を承継いたしました。新会社は日本のキャッシュ流通改革を目指し、究極に無駄を省き、合理的で低コスト、さらに低社会負荷の仕組みを作り上げ、お客様のコスト削減に貢献するとともに、社会にも貢献することでお客様、社会、当社グループの「トリプルウイン」を構築して、「キャッシュ・ロジスティクスプラットフォーム」となることをビジョンとして掲げています。

2022年12月期業績概況

設定便、集配金業務は減少したものの、各種コスト削減などの効果により、売上収益は680億円、セグメント利益は31億円となりました。

売上収益／セグメント利益の推移



従業員数
6,453名
設備投資額
16億円



今後の主な取り組み

NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社の設立について

今後の事業拡大について、プラットフォームの構築・展開を通じて、競業他社と差別化し、キャッシュ流通全般を担う3PL事業者となることを目指していくとともに、以下の3点について取り組みを強化していきます。

①キャッシュ流通業務の拡大

金融機関のアウトソーシングと小売チェーン店や商業施設などの一般顧客の2つをターゲットとし、流通している現預金、それに付随する物の新たなオペレーションを提供することで、輸送を含む一貫した業務を拡大してまいります。

②オペレーションの整流化・標準化

キャッシュ流通業務を拡大する一方で、「5S3定」の概念を基軸として、社内で行っている業務方法、レイアウトなどのオペレーションを整流化、標準化を推進します。

③データ活用の推進

現在構築中の Core System を導入し、作業工程ごとのリアルタイムデータを取得し、それを可視化、数値化し、生産性や品質向上など現場改善に活用します。

セグメント情報

重量品建設セグメント

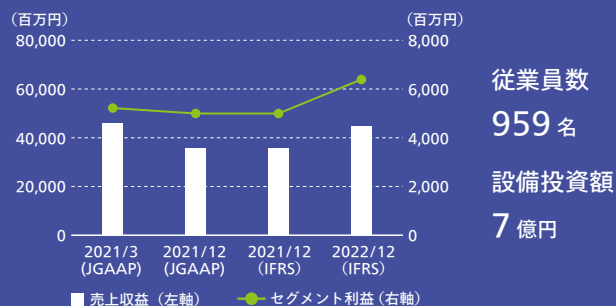
事業概要

発電所、石油化学プラント、設備機器の輸送から据付組立までの全てを一貫して行っています。その他、半導体の製造工場のクリーンルーム内設備といった精密機器の運搬・搬入・据付にも、独自の技術で対応しています。環境への配慮から近年需要が高まっている風力発電設備の運搬・据付業務には1999年から本格的に乗り出しており、現在国内にある風力発電設備の約70%は当社グループが輸送・据付を行い、今後も取り扱いを伸長させる計画です。また、2023年度は、社会的にも関心事である道路インフラの老朽化対策として行われる更新工事の受注についても取り扱っていく計画です。

2022年12月期業績概況

プラント関連工事は減少したものの、風力発電関連工事や産業機械関連工事の取り扱いが伸長し、売上収益は445億円、セグメント利益は63億円となりました。

売上収益／セグメント利益の推移



2022年度の主な取り組み

風力発電輸送で国内トップシェア

陸上風力発電設備は、山の稜線に建設されるような場合が多く、長さ40～60mものブレード(羽根)や重さ数十tにもなるナセル(発電機)を、障害物を避けながら輸送するには、高度な技術が必要になります。日本通運株式会社では、専用に独自開発したトレーラー(ブレード起立装置)や経験豊かなスタッフによる

綿密な輸送計画によって、この困難を乗り越えています。また、2022年度は日本国内では初めてとなる商用洋上風力発電事業(秋田能代)の業務を受注し、無事完工いたしました。今後、グローバルな潮流として拡大していく再生可能エネルギーの普及促進の一翼を担うことができるよう、高品質かつ安全な作業を徹底し、風力発電設備輸送における国内トップシェアを目指します。

セグメント情報

物流サポートセグメント

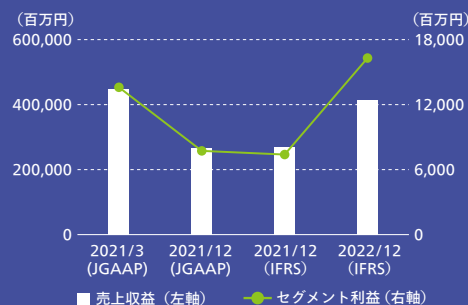
事業概要

物流という本業に関連した、あるいは本業によって広がったネットワークを活用した事業を展開しています。梱包資材から車両、石油・LPガスなど、輸送に欠かせない各種商品の販売、車両の整備、保険代理店業務や、物流ニーズの調査・研究業、ロジスティクスファイナンス事業、労働者派遣業、不動産業などを行っています。

2022年12月期業績概況

石油部門の取り扱い増および販売単価の上昇などがあり、売上収益は4,216億円、セグメント利益は164億円となりました。

売上収益／セグメント利益の推移

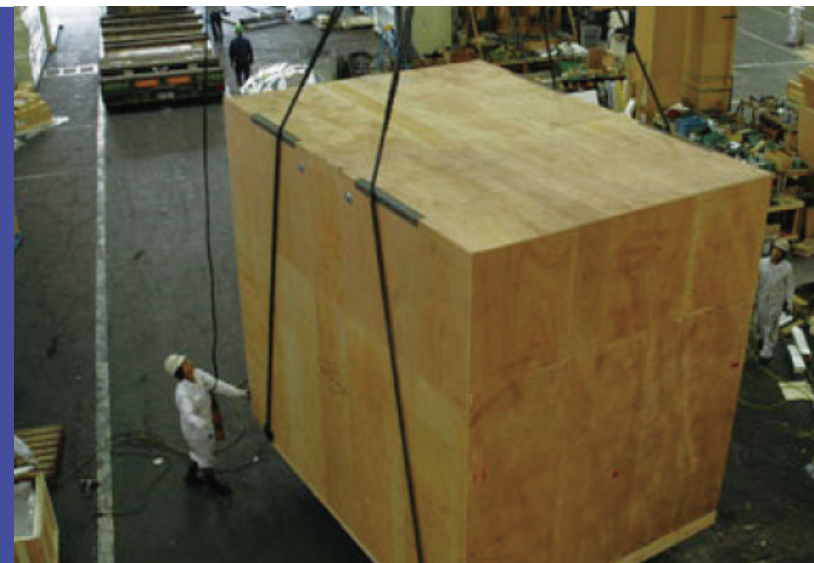


従業員数

4,546名

設備投資額

26億円



2022年度の主な取り組み

NX 商事株式会社、不動産事業の統合および、ロジスティクスファイナンス事業の承継

同社は、NX 不動産株式会社の不動産事業および NXキャピタル株式会社のロジスティクスファイナンス事業を統合しました。

不動産事業の統合を機に、NX 商事において NXグループ各社が保有する物流施設や不動産におけるグループ内の不動産業務のシェアード機能を強化することで経営効率の向上を図ります。また、NXグループ内のノウハウを蓄積しさらなる専門性を向上させることで不動産の管理・運営機能を強化し、物流機器・設備の販

売やコンサルティング事業を行い日本全国に拠点を持つ当社の営業ネットワークを活用することで、物流施設やオフィスに関してお客様のビジネスに役立つ最適なサービスを提供し、不動産事業の成長に取り組んでいきます。

さらに、NXキャピタルのロジスティクスファイナンス事業を、豊富な国際間の物品売買取引に強みを持つ当社に統合し、両社の営業ネットワークやノウハウを共有・活用することで専門性、競争力の向上および事業の強化を図り、お客様のトレーディングビジネスをグローバルにサポートしていきます。

NX 商事株式会社、カーボンニュートラルLPガスの取り扱い開始

同社が取り扱う CNLPG は、米国の国際 NGO 団体が認証したカーボンクレジットを購入し、LPガスの採掘から燃焼に至るまでに発生する CO₂ をオフセット (相殺) したもので、LPガス使用による CO₂ 排出を実質ゼロにします。

同社は、お客様のあらゆるニーズに対応し、エネルギーソリューション活動を積極的に行っており、NXグループ各拠点で使用される LPガスに CNLPG を活用していきます。また、お客様に CNLPG を幅広く訴求するため、オリジナルロゴを作成し、供給証明書やステッカーなどに活用していく予定です。